

使 2 章 41 節 彼の^{かれ}ことば^{ことば}を受け^う入れた^い人々^{ひとびと}はバプテスマ^うを受けた。その日^ひ、
三千人^{さんぜんにん}ほどが仲間^{なかま}に加えられた。

Remnant はキリストとともにいる奥義^{おくぎ}によって、成り立つ伝道^{でんどう}の答え^{こた}を受けましょ^うう。どのように、この答え^{こた}を受け^うけることができるのでしょうか。

1 つ目^め、300%^{おくぎ}の奥義^しを知^しりましょ^うう。使徒^{しと}1 章 1 節^{せつ}キリスト、3 節^{せつ}神^{くに}の国^{くに}、8 節^{せつ}た
だ聖霊^{せいれい}を味^{あじ}わうことに集^{しゅうちゅう}中^{ちゅう}しましょ^うう。すると、マルコ^{まろく}の屋上^{おくじょう}の部屋^{へや}のよう
に集^{しゅうちゅう}中^{ちゅう}する弟子^{でし}を作る再生産^{つく}のシステム^{さいせいさん}が作^{つく}られます。2 つ目^め、再生産^{でんどう}伝道^{さいせいさん}と
は何^{なに}なのかを知^しりましょ^うう。まず伝道現場^{でんどうげんば}で伝道^{でんどう}の門^{もん}が確実^{かくじつ}に開^{ひら}かれる所^{ところ}です
るタラップ^{しゅうちゅう}です。集^{しゅうちゅう}中^{ちゅう}の奥義^{おくぎ}を味^{あじ}わう弟子^{でし}が出てくる時^{とき}までするのです。そ
して、人^{ひと}を癒^いやすチーム^{はたら}の働^{かてい}き、家庭^{かいてい}を生^いかすミッショ^いンホーム^い、職場^{しよくば}の中^{なか}
で弟子^{でし}を見^みつけて癒^いやす専門^{せんもん}の働^{はたら}き、ただ伝道^{でんどう}と祈^{いの}りだけする地域^{ちいき}の地教会^{ちきょうかい}のこと
です。3 つ目^め、限界^{げんかい}を超える時刻表^{じこくひょう}を知^しりましょ^うう。福音^{ふくいん}でないユダヤ人^{じん}思想^{しそう}
を超^こえて、イエス様^{きさま}が公生涯^{こうしやうがい}で語^{かた}られた救^{すく}いと聖霊^{せいれい}を持^もつ時刻表^{じこくひょう}です。次^{つぎ}は
しゅうきよう^{しゅうきよう}のすべての限界^{げんかい}を超^こえるカルバ^かリの丘^{かみ}、オリブ山^{おリーブ}、マルコ^{まろく}の屋上^{おくじょう}の部屋^{へや}
の時刻表^{じこくひょう}、パウロとその弟子^{でし}が超^こえた初代教会^{しよだいきょうかい}の限界^{げんかい}を超^こえて宣^{せん}教^{きやう}する時刻表^{じこくひょう}
です。

Remnant は伝道運動^{でんどううんどう}を持続^{じぞく}して、伝道再生産^{でんどうさいせいさん}の答え^{こた}を受け^うけるように祈^{いの}りましょ^うう。

神様^{かみさま}、インマヌエルの奥義^{おくぎ}によって、成り立つ伝道^{でんどう}の奥義^{おくぎ}を味^{あじ}わう答え^{こた}を受け
ますように。生きておられるイエス・キリストの御名^{ごみな}によってお祈^{いの}りします。
アーメン

使 2 章 10 節 フリュギアとパンフィリア、エジプト、クレネに近^{ちか}いリビア地方^{ちほう}
などに住^すむ者^{もの}、また滞^{たいざい}在中^{ちゅう}のローマ人^{じん}で、

Remnant は御座^{みざ}の祝^{しゅく}福^{ふく}を祈^{いの}りましょ^うう。この祝^{しゅく}福^{ふく}が私^{わたし}と現場^{げんば}に臨^{のぞ}みます。すると、神^{かみ}の国^{くに}のこ^こが起^おこります。その証^{しょう}拠^きが聖書^{せいしょ}に記^き録^{ろく}されています。

1 つ目^め、使徒^{しと}2 章 10 節^{せつ}には御座^{みざ}のやぐらを持^もって進^{すす}んだ旅程^{りょてい}、道^{みち}しるべ^{しるべ}を体験^{たいけん}
した人々^{ひとびと}が記^き録^{ろく}されています。2 つ目^め、使徒^{しと}18 章 1 節^{せつ}から 4 節^{せつ}の記^き録^{ろく}です。パウロ
チームは、アテネの伝道^{でんどう}で実^みがなかつたのですが、コリントで職^{しよくふく}業^{わたくし}が同じ^{げんば}プリ
スカ夫婦^{ふうふ}に会^あいました。そして、会堂^{かいどう}に入^{はい}るように導^{みちび}かれました。3 つ目^め、使徒^{しと}
18 章 24 節^{せつ}から 28 節^{せつ}には、マルコ^{まろく}の屋上^{おくじょう}の部屋^{へや}にあった聖霊^{せいれい}の働^{はたら}き、Remnant
アポロに伝^{つた}えられました。その後^{あと}、アポロは力^{ちから}強^{つよ}くみことばを伝^{つた}える人^{ひと}になり
ました。4 つ目^め、I コリ^いン 16 章 19 節^{せつ}には、プリスカの家^{いえ}の地教会^{ちきょうかい}についての記^き録^{ろく}
があります。問題^{もんだい}がある人^{ひと}が答^{こた}えを受け^うけて、困^{こん}難^{なん}にあつてい^いる人^{ひと}には更^き新^{しん}、危^き機^き
にあつてい^いる人^{ひと}には機^き会^{かい}となるようにする地教会^{ちきょうかい}です。5 つ目^め、ローマ 16 章^{しやう}
には、237 か国^{こく}5 千種族^{せんしゆぞく}の前に主^{まへ}の働^{しゆ}きを成^{はたら}し遂^なげることにいのちの危^き険^{けん}をおか
す弟子^{でし}が起^おこりました。その人々^{ひとびと}に神様^{かみさま}が隠^{かく}されていたこと^{こと}を与^{あた}えられました。

Remnant は御座^{みざ}の祝^{しゅく}福^{ふく}が私^{わたし}と現場^{げんば}に臨^{のぞ}む祈^{いの}りをしましょ^うう。

神様^{かみさま}、御座^{みざ}の祝^{しゅく}福^{ふく}が臨^{のぞ}んで、私^{わたし}と現場^{げんば}に神^{かみ}の国^{くに}のこ^こが起^おこるのを見^みますよ
うに。生きておられるイエス・キリストの御名^{ごみな}によってお祈^{いの}りします。アーメ
ン

使1章8節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

イエス様が語られたまことの復興が起こるように祈りましょう。キリストがくださった御座のやぐら、旅程、道しるべの答えを受ければ良いのです。

1つ目、聖霊の満たしを24味わえば、やぐらが私の中に作られます。朝と昼、夜に祈りで3集中しましょう。すると、多くの人が来るようになるプラットフォーム、光を照らす見張り台、アンテナが作られます。それが作られた人には問題と危機、葛藤が答えになります。2つ目、聖霊の満たしの力を受けて、25神の国の旅程を進むようになります。神様が私とともに、インマヌエルでもにおられるシステムが作られます。すると、ただ、唯一性、再創造の答えが見えて、絶対弟子が出て来ます。3つ目、永遠の道しるべを進むようになります。カルバリの丘の事件で弟子だけが120人残りました。オリーブ山でまことの答えが始まるミッションを受けました。マルコの屋上の部屋で多民族弟子と3千弟子が起きました。アンティオキア教会では思想と理念、文化を超えました。アジアでは暗闇文化を完全に崩しました。マケドニアでは困難が祝福のターニングポイントになりました。ローマはだれも行けない237-5千種族を実際に生かした所でした。

Remnant はまことの復興の答えの主役になりましょう。

神様、御座のやぐら、旅程、道しるべの答えでまことの復興の主役になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ヨシ14章6~15節 その日、モーセは誓いました。『あなたの足が踏む地は必ず、永久に、あなたとあなたの子孫の相続地となる。あなたが私の神、主に従い通したからである。』(9)

Remnant は、神様が自分に与えられた*空前絶後の答えがあるという事実を発見してください。この答えをどのように見つけ出して、受けるのでしょうか。

1つ目、確認することがあります。確実にみことばが成就することを証拠として握りましょう。Remnantが進む道に、神様のみことばがどのように成就するかを確認するのです。すると、空前絶後の答えが与えられているのが見え始めます。2つ目、だまされてはならないことがあります。Remnantは現実と環境にだまされないようにしましょう。その中にある神様の絶対計画を質問して、見つけて、握るのです。Remnantのいのちと未来、すべてが神様の主権の中にあるという事実を確信すれば良いのです。3つ目、確信することがあります。確実な未来を確信しましょう。Remnantはキリストによって暗闇から解放されました。ですから、苦難は神様が与えられる証拠を見るためのものです。その道の最後は神様の絶対未来である世界福音化が成り立ちます。

それゆえ、落胆せずに Remnant に残された神様の空前絶後の契約を握りましょう。そして、三つの庭を作って、全世界を生かすほど、答えを受けましょう。そのためにも、Remnant にだけ与えられた空前絶後を見つけて出すのです。

*空前絶後: これまでなかったし、これからもないという意味です。

神様、私に与えてくださった神様の空前絶後の答えを発見しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ハガ2章1～9節 この宮のこれから後の栄光は、先のものにまさる。——万軍の主は言われる——この場所にわたしは平和を与える。——万軍の主のことは。』(9)

キリストの契約を握るとき、三位一体の神様が御座の力で働かれています。見ることが出来ます。すると時空を超越して空前絶後の答えが与えられているのが分かります。これを知っている人は命をかけることが出来ます。神様はだれに神殿を再建しなさいと語られたのでしょうか。

1つ目、バビロン時代に命を*担保にした人々です。バビロンでキリストの契約を握った Remnant ダニエルと三人の同僚がいて、その時代にエステルもいました。この人々を通してバビロンに時空を超越する霊的なことが起こりました。2つ目、これから残りの者を通してなさることの価値を知って命を担保にする人々です。主のみことばがハガイに臨みました。ユダの総督ゼルバベルと大祭司ヨシュア、民の残りの者に、強くあれと言いなさいと語られました。3つ目、次世代に、この命を担保にする価値を伝達する人々です。次世代に全世界に来る霊的わざわいを止めることを残しておいて行くのです。神様が先にあった宮を見た者はいるかと尋ねられました。エジプトから出たとき神様の霊がともにおられたように、神様の霊があなたがたの間にとどまっていると言われました。この祝福で神殿を再建する体験を持つように祈りましょう。

Remnant は、まず最初に3職務のキリストの契約を毎日味わいましょう。キリストのほかは必要ないとなるとき、まことの価値を知るようになります。

*担保: なにかの事物や人に対して引き受けて責任をとり、間違いないということを証明することを言います。

神様、まことの価値が何かを知って、その価値に命をかける Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

詩78篇70～72節 主はしもベダビデを選び羊の囲いから召し出された。乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て御民ヤコブをご自分のゆずりの民イスラエルを牧するようにされた。彼は全き心で彼らを牧し英知の手で彼らを導いた。

神様は24ともにいると言われました。そして Remnant を見張り人として呼ばれました。見張り人は御座の力があるやぐらが必要です。やぐらがあれば、神の国を成し遂げる旅程を進み、次世代が進むことができる道しるべを建てるようになります。聖書の見張り人はどんな答えを受けたのでしょうか。

1つ目、ヨセフは王も知らないことを知って、王に知らせました。王より優れた見張り人の答えを受けたのです。そして、未信者である王が、このように主の霊に満たされた人は、ほかにいないと言いました。この知恵を Remnant が受けるでしょう。2つ目、王を癒やす見張り人の答えを受けました。王を癒やすと237か国、5千種族が癒やされました。3つ目、ダビデはサミットである王たちを指導して生かす、サミットの答えを受けました。羊飼いをしていたとき祈っていたのですが、用いられるようになりました。そして、サムエルが油を注いでダビデを王として立てることを約束しました。この日以来、主の霊が激しくダビデに臨みました。それから、ダビデはゴリヤテが現れたとき霊的サミットとして出て行って、ゴリヤテに勝ちました。結局、王になって1千やぐらと神殿準備をやり終えました。

今から御座の力があるやぐら、旅程、道しるべを準備しましょう。

神様、聖書の見張り人の答えを受けますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン